

自律を
めざして

学びの創造研究会

- 軽井沢町立軽井沢西部小学校 -



10.27

mon.

『学校づくりテーマ』
自律をめざして
探究・共生する
子どもの育成

次第【会場】

13:10-13:25 受付

13:30-13:40 開会式・研究発表

13:50-14:35 授業公開

(1年竹組・5年松組・6年竹組)

14:45-15:00 授業検討会

15:05-15:25 全体研究会

『共生する学級ををつくるために私たちができること』

15:30-16:40 赤坂先生ご講演

『これからの学級経営』

16:40-16:45 閉会式

【職員玄関】

【体育館】

【各教室】

【各教室】

【体育館】

【体育館】

【体育館】



軽井沢町立軽井沢西部小学校 学校づくり概要

【学校づくりテーマ】 『自律をめざし探究・共生する子どもの育成』



「じぶんでかながえ みんなでつくる」考えをひらき、つながりを紡ぐわたしたちのあゆみ

本校の学校教育目標は「じぶんでかながえ みんなでつくる」です。今年度はこの目標をより具体化するために、「自分で決めること」や「仲間から認められる経験」を大切にしながら、子どもたちが主体的に学び合い、共によりよい学級や学校を築いていけるような教育活動を進めています。そのために、日常の学校生活の中で自己決定の機会を保障し、自己有用感を高める場面を意図的に設けています。例えば、4月には、「学びのSTART集会」という全校集会を開き、子どもたちと「自律」について考え合うことからスタートしました。

実践の柱となるのが、クラス会議と自己調整学習です。共同研究者の赤坂真二先生が提唱されるように、クラス会議の目的は「共同体感覚」の育成にあります。クラス会議では、子どもたちが個人や学級の課題を出し合い、互いの意見を尊重しながら解決策を見いだす活動を重ねています。その過程で合意形成の力や協働の力が育まれ、学級の成長につながっています。さらに、そこで培った力を基盤に、子ども自身が学習の目標や方法を主体的に選び、振り返りや改善を行う自己調整のある学習へとつなげています。

こうした取り組みの中で、子どもたちの変化も見えてきました。低学年では、友だちの意見を最後まで聞いてから自分の考えを付け加える姿が見られるようになりました。高学年では、複数の意見を整理して解決策を導き出したり、発言が少ない友だちに「どう思う？」と声をかけたりする姿が見られます。また、自己調整学習では、友だちの学び方を参考にしたり、助言を求めたりする姿が増え、振り返りの場面で自分の課題や改善点を具体的に言語化できる子どもが増えてきました。

本日は、1年生のクラス会議、6年生のクラス会議、そして5年生算数の自己調整のある学習を公開します。本研究会では、子どもたちの実践の様子を直にご覧いただくとともに、赤坂真二先生のご講話から、学校づくりや学びづくりのさらなる展望を共有できる貴重な機会となります。考えをひらき、つながりを紡ぐ学びの場を、皆さまとともに創り上げられることを心より楽しみにしております。

「クラス会議」 これまでの歩み

〇昨年度の実践より

軽井沢西部小学校に赴任し2年目の昨年、私は4年生の担任をしていました。3年生から持ち上げ、共に生活するのも2年目となった子どもたち。私と子どもたちの関係、そして子どもたち同士の関係もできてきた中で、少し気になることが出てきました。クラス内のトラブルが増えてきたのです。関係性が出来上がり、環境への慣れも出てきたためか、子どもたち同士の些細なものから、給食当番、掃除、係活動など、クラス全体に関わるものまで、様々なトラブルが浮かび上がってきました。また、こうしたトラブルが起きたときに「先生！〇〇さんが…」「先生！みんなが全然掃除をしてくれません」と、私を頼ることが多くなりました。先生に頼ることも時には大切ですが、私には「何かトラブルが起きた時は、自分たちで話し合い解決してほしい」という思いがありました。そんな時に出会ったのが「クラス会議」でした。

西部小には学級活動の中でクラス会議を実践されている先生がいたため、さっそく先生にお話をお聞きしたり、クラス会議を私のクラスで実際にやっていただいたりしました。また、上越教育大学の赤坂真二先生の『赤坂版「クラス会議」完全マニュアル』（ほんの森出版）を読み、実際に自分でも1年間チャレンジしてみました。



クラス会議で話す議題は、できる限り子どもたちから集めました。子どもたちが抱える「困ったな…」「もっとよくしたい！」と思う気持ちを大切にしたいからです。また、教師が提示した議題よりも、子どもたちの中から出てきた議題の方がより自分事として真剣に考えることができるのではないかと考えました。

クラス会議は、全員で輪になり、一人ずつ順番に話をします。話すのが難しい場合は「パスします」ときちんとみんなに伝えます。言いたい人だけが意見を言うのではなく、全員に必ず意見を言う機会が回ってくるというのがクラス会議の大切なポイントだと思います。

子どもたちから出た解決策の中から最終的には一つの解決策に絞ります。子どもたちには「選ばれた意見がすごくて、選ばれなかった意見が悪いわけではない」ということを伝えてきました。全員がクラスの課題や友達の悩みについて、自分事として考え、意見を伝えあうことができたことに価値があると思います。また、クラス会議の中で自分の意見が友達から認められること、きちんと

話を聞いてもらえることを通じて、**自己有用感も育まれていく**と思います。

○今年度実践してみてもう

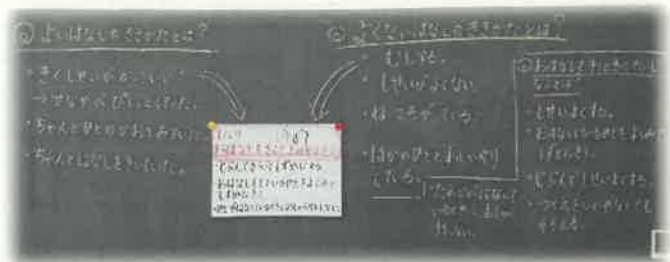
今年度は1年生の担任となりました。1年生でも同じようにクラス会議をやってみたいと思いましたが、昨年度と同じようにはいきません。まず輪になること、そしてきちんと先生や友達の話を聞くことなど、クラス会議を始める以前に課題が山積みでした。そのため、こうした課題を一つひとつ解決していくための活動を行いました。



また、週に2～3回朝の時間にみんなで輪になってお話をする時間を設けています。輪になる時の速さを計ることで、次はもっと速く輪になれるように…という気持ちが子どもたちからも見られるようになりました。



まずはどういう話の聞き方がよいのかをみんなで考えました。一人ひとりが思う“最悪な話の聞き方”と“最高の話の聞き方”をそれぞれペアでやってみて、話し手がどんな気持ちになったかを共有しました。そして、みんなで話を聞く時の約束を決めました。



そして、いよいよクラス会議を実践してみました。昨年度は議題を出すのもクラス会議の司会もすべて子どもたちに任せていましたが、1年生でいきなりそれはハードルが高いため、司会は担任が、そして議題は担任の悩みを子どもたちに相談するという形で始

めました。議題もできる限り子どもたちが身近に感じられそうな議題にするよう意識しています。その方が、より自分事として解決策を考えられると思ったからです。慣れてきたら少しずつ子どもたちから議題を募ったり、クラスの課題も話し合っていけるとよいなと思います。

1年生でのクラス会議は難しいところもたくさんありますが、実践していく中で、クラス会議中だけでなく日常生活でも友達の話を静かに聞いたり、誰かが話した後に自然と拍手が起きたりと、**友達を大切に作る姿がたくさん見られるようになり**、うれしく思っています。これからもクラス会議を通じて、子どもたちが安心して想いを伝えあえる居心地のよいクラスを作っていきたいと思っています。

○授業を参観される際の視点

- ①教師の声がけのタイミングや内容が子どもたちにとってにどのような影響があったか。
- ②クラス会議の中で、友達のことを大切にしている姿があったか。また、それはどんな姿だったか。

令和7年度 学び創造研究会 5年松組

算数「平均とその利用」



01

軽井沢西部小 算数「学習ガイド」(5年)

- ①日付と単元名を書きましょう。
 - ②めあてを書きましょう。時間は何分がいいですか?→では～分です。始めましょう。
 - ③めあてを教えてくれる人はいますか?
※もしくは指名したり、くじを引いたりするのもありますね
☆みんながどんなことを頑張ろうとしているのを知りたいきっかけにしよう
 - ④「一人学び」を始めましょう。時間は何分がいいですか?→では～分です。始めましょう。
☆この時間はとにかくじっくり自分で考える時間です。自分の額の中を整理しよう!
 - ⑤「学び合い」を始めましょう。時間は何分がいいですか?→では～分です。始めましょう。
☆今度はどんどんコミュニケーションをとりよう!じっくり一人で継続もあり。
 - ⑥どんな考えが出たか、教えてくれる人はいますか?
 - ⑦振り返りを書きましょう。時間は何分がいいですか?→では～分です。始めましょう。
 - ⑧振り返りを教えてくれる人はいますか?
- ☆みんなで進め、みんなで考える、素敵な算数の時間にしよう!!



児童が授業をつくる

5年生では、学習ガイドを使って児童が授業を進めています(国語と算数)。時間配分や意見共有の仕方など、その日の課題や友達の様子を見ながら工夫して取り組んでいます。教師は「見守り」の姿勢で、全体把握や机間巡視に努めます。

「一人学び」と「学び合い」

- 一人ですること考える時間の「一人学び」、友達と交流しながら答えを確かめたり考えの選択肢を増やしたりする「学び合い」。これらの時間を必ずとっています。自分なりの考えをもって
- 交流に移ることで、会話が活発になります。



03



自分なりのめあてとふりかえり

児童はその日の課題を見て、一人ひとりが自分なりのめあてを設定します。そのめあてが一人学びや学び合いで考える視点の一つとなります。振り返りではそのめあてを見ながら自分の学習の姿を振り返ります。

裏面→児童の様子と今後に向けて

児童の様子

めあてや振り返りなど、積極的に発言をする姿が多くあります。また、「助けてー」「分かる人教えて！」など、分からないことを表現できるようにもなってきました。これらは、はきはきと自信をもって発言する児童や、分からないことを受け止めてくれる児童など、お互いの姿を見る中で影響を与え合い、生まれたよさだと感じています。



今後に向けて

積極的な発言が増えてきた一方で、とことん一人で学ぶ「一人学び」でアイデアが浮かばず固まってしまう児童も出てきました。振り返りを生かし善治とのつながりが生まれるようにして「一人学び」に苦しさが生まれないようにしたいと考えています。

また、児童の関わり方や表現方法に広がりが出てきたこと、学習スタイルがなじんできたこともあり、児童だけで進められる時間が増えてきました。その中で教師が声をかけるタイミングを精査しつつ、安心感をもって学習できるようにしていきます。



今日の授業の視点

- ①「一人学び」での解法やアイデアが、課題の解決に向かっているものになっていたか
- ②「学び合い」での関わり合いや教師の声掛けが、安心して学習できる雰囲気づくりにつながっていたか

一期一会

6年竹組学級通信
令和7年10月27日
番外編 文責：山本

6年竹組「クラス会議」の歩み

6年竹組のみんなと出会ったのは、私が教師になって1年目だった昨年度のことです。当時の私は、クラスで何かトラブルがあると「自分が間に入って何とかしなくては」と思い、必要以上に介入してしまっていました。「何とか自分の思いを子どもたちに伝えたい」という気持ちが強すぎて、子どもたちが自分で考える時間を奪ってしまっていたように思います。その頃の子どもの様子を見ると、大人が決めたルールが自分事にならず、同じトラブルを繰り返していました。そんな状況をどうしたらよくしていけるか悩んでいるときに出会ったのが、「クラス会議」です。

隣のクラスの子どもたちがクラス会議をしている様子を参観した際、必要以上に大人が入らず、自分たちで考えた課題を自分たちで解決しようとする様子に感銘を受けました。私自身が「子どもにもっと委ねて一緒に成長してかなくてはいけない」と気づいた瞬間でした。

クラス会議の土台作り

さっそく自分のクラスでもクラス会議を始めるにあたり、クラス会議の目的と大切にしたいことを確認しました。なぜやるのか、なにを大切にすることかを一緒に考えることで、クラス会議自体が自分事になると思ったからです。その話し合いの中では、「クラスの主役は私たち！自分たちのクラスは自分たちでよくしていこう」「聴く姿勢を大切にしたい」といった意見が出ました。

特に「聴く姿勢」については、クラス会議以外の授業でも意識するようにしました。「相手に話を聴いてもらえる」ことの喜びを、6竹の子たちに感じてほしいと思っています。



どうしたら持ち上げられる？
私ちょっとゆっくりにしてみる！

今年度のクラスの様子

今年度に入り、子どもたちの「聴く姿勢」が育っているように感じます。私が話しているときにざわざわしていると「聴こうよ」と声をかけたり、クラス会議でも「ちょっと静かにしよう」と言ったり…。相手の話をじっくり聞く姿勢が育ったことで、クラス会議でたくさんの意見が出るようになってきました。

一方で、疲れてくるとじっくり聞くことが難しい時もあります。まずは私自身が子どもたちの話にじっくり耳を傾けることを心掛け、お互いに安心して聴き合える環境を作っていけたらと思っています。

話してる人に注目！



どうしたらいいかな



公開授業の視点

①議題が自分事になっているか

②相手の話をじっくり聴くことができているか

これまでクラス会議を重ねていく中で、議題がなかなか自分事にならずあまり意見が深まらないことがありました。そうした時に、「自分には関係ない」ではなく一緒に考えていこうということを繰り返し伝えてきました。本日の授業でも、一人一人が議題を自分事としてとらえることができているか見ていただきたいです。

また、5年生のころから積み重ねてきた「じっくり聴く姿勢」ができているかどうかについても見ていただけるとありがたいです。



○本校西側の駐車場（黄色の部分）をご利用ください。

校舎増築工事に伴い、ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

○授業にかかわる資料は、当日お渡しいたします。

○ご不明な点がありましたら、学校までご連絡ください。（0267-45-1052）

